

支出項目

政務活動費

調査研究費

No.1

元 月	年度 日	内容	支出額 (円)	累計額 (円)
10	18	行政視察 神奈川県藤沢市	✓ 800	800
		合計	800	

出張旅費計算書

摘要	神奈川県藤沢市役所 議会報告会・意見交換会（カフェト クふじさわ）の運営について （政務活動費）			会派	絆ちがさき		
期日	令和元年10月18日			氏名	山田 悦子 長谷川由美		
経路	日数	泊数	キロ数	運賃（円）	急行料金（円）	金額（円）	
茅ヶ崎—藤沢 （JR東海道線）	1	/	7.5	200	-	200	
藤沢—茅ヶ崎 （JR東海道線）			7.5	200	-	200	
計	1	-	15.0	400	-	(A) 400	
日当	日 × @					(B)	
合計	(A)+(B) 400			×	2	人 800	

視察にかかる調査事項

広報広聴委員会
(10月18日実施)

神奈川県 藤沢市

案件・・・議会報告会・意見交換会
(カフェトークふじさわ)の運営について

- 1、議会報告会・意見交換会開催の告知の方法について
- 2、参加人数拡大のための対策について
- 3、各テーブルに配置するメンバーの選考及びテーマの選定方法について
- 4、議会報告会・意見交換会に伴う時間配分の取り決めについて
- 5、ファシリテーターとの進行上の留意点について
- 6、開催後の市民への報告手段について

行政視察行程表

令和元年10月18日(金)

10月18日(金)	<table border="1"><tr><td>茅ヶ崎市役所</td><td>徒歩</td><td>茅ヶ崎駅</td><td>茅ヶ崎駅</td><td>藤沢駅</td></tr><tr><td>13:00</td><td>→</td><td>13:20</td><td>→</td><td>13:28</td></tr></table>	茅ヶ崎市役所	徒歩	茅ヶ崎駅	茅ヶ崎駅	藤沢駅	13:00	→	13:20	→	13:28
	茅ヶ崎市役所	徒歩	茅ヶ崎駅	茅ヶ崎駅	藤沢駅						
	13:00	→	13:20	→	13:28						
	<table border="1"><tr><td>藤沢駅</td><td>徒歩</td><td>藤沢市役所</td></tr><tr><td>13:28</td><td>→</td><td>13:50</td></tr></table>	藤沢駅	徒歩	藤沢市役所	13:28	→	13:50				
藤沢駅	徒歩	藤沢市役所									
13:28	→	13:50									
◎視察項目 午後2時から1時間半程度 1 議会報告会・意見交換会(カフェトークふじさわ)の運営について											
藤沢市役所 議会事務局 様 〒251-8601 神奈川県藤沢市朝日町1番地の1 代表電話番号:0466-25-1111											
<table border="1"><tr><td>藤沢市役所</td><td>JR</td><td>茅ヶ崎</td></tr><tr><td>16:00</td><td>→</td><td>16:30</td></tr></table>	藤沢市役所	JR	茅ヶ崎	16:00	→	16:30					
藤沢市役所	JR	茅ヶ崎									
16:00	→	16:30									

政務活動報告書

令和2年 3月31日

茅ヶ崎市議会議長
水島 誠司 様

(会派名) 絆ちがさき
(氏名) 長谷川 由美

政務活動の結果は、次のとおりでした。

日 時	令和元年10月18日(金) 14時00分～15時30分
目的 地 (研 修 地)	藤沢市役所 (横浜市朝日町1-1)
政務活動の結果 別紙のとおり	



政務活動報告書

令和元年10月31日

茅ヶ崎市議会議長
水島 誠司 様

(会派名) 絆ちがさき

(氏名) 長谷川由美、

政務活動の結果は、次のとおりでした。

日 時	令和元年10月18日(金)
目 的 地	神奈川県藤沢市 市役所 藤沢市議会
内 容	<p>案件 議会報告会・意見交換会(カフェトークふじさわ)の運営について</p> <p>出席 絆ちがさき 山田悦子、長谷川由美</p> <p>茅ヶ崎における議会報告会・意見交換会の活性化を進めるため、ワールドカフェ方式で、より市民に親しみやすい実践をおこなっている藤沢市を視察した。</p> <p>1、告知の方法について 「カフェトークふじさわ」というタイトルとし、議会報告会・意見交換会の堅いイメージとは違い、ポスターデザインなどを採用している。一見、どのようなイベントかわからない面はあるものの興味をもってもらえるように感じる。数年来、同じデザインのカラーを季節、テ</p>

	<p>マにあわせて変えることで活用されている。</p> <p>2、 参加者人数拡大のための対策について</p> <p>1の広報媒体を効果的に使用すること、また中学生にまで対象を広げるなどの工夫があった。</p> <p>3、 席の配置、テーマの選定など</p> <p>各テーブルごとにまとめ役の大学生が入ることで、発言しやすい雰囲気ができると思う。テーマも、市民が想像しやすいものを選び、時期をあわせている。(例：私が市長だったら・市長選の時期に開催)</p> <p>4、 時間配分</p> <p>公聴としてのワールドカフェに多くの時間を使い、参加者が発言できる時間が多い。</p> <p>5、 進行上の留意点</p> <p>ファシリテーターを外部の方(大学教員)が、担うことで、ワールドカフェのルールをなじませやすくなっている</p> <p>6、 開催後の対応</p> <p>結論を出すなどの作業をするのではなく、意見を聞き場として対応されている。</p>
<p>考 察</p> <p>本市の活動との比較</p> <p>今後の可能性</p>	<p>茅ヶ崎市議会が開催している議会報告会、意見交換会は参加者が少なくなっており、また堅いイメージでとらえられている。より多くの市民が、自発的に気軽に参加できること、参加して良かったと思えること、少なくとも会場で過ごしやすい雰囲気を作る必要がある。</p> <p>そのためには、藤沢の取り組みにみられるように、ワールドカフェ方式の採用や、会場の雰囲気づくりも工夫すべきである。特に広報の際には、「これまでとは違うことにチャレンジをする」を強くだす必要がある。そして「参加しましょう」という、呼びかけるメッセージを発信すべきであると考えます。</p>